１　指導者　中村　恵

２　単元名　いきものとなかよし

３　本単元で身に付けたい資質・能力

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 本単元で目指すレベル | **１** | **２** | **３** |
| ① | 知識及び技能 | ○ |  |  |
| ② | 思考力，判断力，表現力 | ○ |  |  |
| ③ | 共感的な人間関係 | ○ |  |  |
| ④ | チャレンジ精神 | ○ |  |  |

４　単元設定

（１）単元概要

本単元は，学習指導要領の内容（７）「動植物の飼育・栽培」をもとに，構成している。

　　児童が，動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ，それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに，生き物への親しみをもち，大切にしようとすることをねらいとしている。

　　児童が身近な自然である校庭や畑に目を向け，生き物を探したり，継続的に飼育活動をしたり，気付いたことを友達と伝え合ったりすることによって，生き物への親しみが生まれ，生き物の立場に立った見方や考え方ができるようになるであろう。また，責任を持って生き物を飼育しようとする態度が生まれ，生命の尊さを感じ，生き物を大切にすることができるようになると考える。

（２）単元目標

　　〇身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して，身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。　　　　　　　　　　　　　　　　（知識・技能）

　　〇身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して，身近な動物の育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。　　　　　　　　　　　（思考・判断・表現）

　　〇身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して，生き物への親しみをもち，大切にしようとしている。　　　　　　　　　　　　　　　　（主体的に学習に取り組む態度）

（３）児童実態及び指導の手立て

　　本単元に対するアンケート調査（令和３年７月１９日）の結果は，以下の通りであった。

１　虫は好きですか。　　　　　　　　　 【大好き 15人，普通 ７人，きらい ３人】

２　虫を飼ったことがありますか。 【何回もある ６人，少しある ９人，ない １０人】

３　本や図鑑で虫のことを調べたことがありますか。

　　　　　　　　　　　　　　　　 【何回もある 12人，少しある 10人，ない ３人】

　　本学級の児童は，休憩時間にダンゴムシやアリを見付けては喜んで採集したり，廊下にいたテントウムシを手に乗せて友達に見せたりと，日常的に虫と触れ合っている。また，春に行った学校探検では，校庭でテントウムシやチョウを見付けてカードに絵を描いていた児童もおり，虫に触れる機会は多い。しかし，採集した虫をかごに入れたまま放っておく姿が見られた。また，アンケート結果から虫を触ることが出来ない児童や，生き物を飼育した経験がない児童もいることが分かる。このことから，まずはしっかり身近な自然の中にいる生き物と関わる時間を確保し，学習への意欲を高めたい。

　　指導にあたっては，虫に対する意識の個人差に留意しながら，無理のないように関わることから始めて児童の興味・関心を高めていきたい。その際，ペアや小グループでの活動を仕組み，虫が触れない友達を助けたり，「〇○にいたよ。」と教え合ったりできるようにする。そうして，友達と活動するうちに飼育ケースの外から観察できるようになったり，自分から世話をしたりする姿が見られるようになったら，その成長を励ましながら，児童に合ったペースで興味を高めていけるように配慮したい。また，児童が虫の名前や餌などを進んで調べられるように，教室に虫の本や図鑑を用意する等して，活動意欲が高まるよう環境を整える。常時活動として虫の餌やりなどをしながら，虫の様子に合わせた世話をすることを大切にさせたい。その中で，観察カードを自由に取れる所に用意し気付いたことをいつでも書けるようにしたり，虫に変化があった時や発見があった時にはクロームブックで写真を撮ったりできるようにしておく。また，帰りの会でペアやグループの友達に虫の様子や思ったことを伝える時間を設ける。その際，何か困っていることがある友達にはアドバイスをすることで学び合いの時間になるようにする。

　ICTの活用においては，虫を見付けた場所をクロームブックで撮影しておき，虫のすみかづくりや虫を育てるために必要な物を考えたり，話し合ったりする際の参考にさせる。また，虫の観察をする時も，写真に撮って拡大し，体の様子を細かく観察することができる。さらに，虫の餌を食べる動きや跳ぶときの足の様子などを動画に撮っておいて友達に紹介する際に活用させる。また，クロームブックを使って動画や写真を撮影し「沼田東小学校 むしっこランドへようこそ」という紹介動画にまとめていきたい。

（４）単元構想の工夫

　児童は，夏休みに毎日アサガオの観察をしたり生き物見付けをしたりしてクロームブックで写真を撮る活動をしている。9月になり，撮った写真を友達と紹介する活動を通して，「学校にはどんな生き物がいるのだろう。」という興味が湧いてくると考える。さらに，来年1年生に入学する幼稚園の友達に，沼田東小学校にいる虫を紹介しようというゴールを設定することで，自分の飼育した虫のすごい所や飼う時に工夫したことを教えてあげたいと，学習に対する意欲も高まると考える。また，幼稚園の友達を学校に招待することが難しい状況なので，「沼田東小学校 むしっこランドへようこそ」という紹介動画を作成して見てもらうことで，つながりを持っていきたい。

（５）資質・能力とのかかわり

「思考力・判断力・表現力」に関して，飼育活動をすることを通して，虫の立場になって考え，虫の様子に合わせて餌を変えたり，環境を変えたりしてより過ごしやすいすみかになるよう工夫する力を育てたい。また，自分の思ったことや気付いたことをよりわかりやすく友達に伝えるためには，どんな方法があるかを考え，選ぶ力も育てたい。

　「共感的な人間関係」に関して，友達と虫に触れ合う楽しさを共有したり，困っているこ

とにアドバイスし合ったり，情報を交換したりするなど，互いにかかわり合う場を大切にし

ていきたい。また，飼育活動を通して友達と協力することの大切さや虫の立場になってどん

な世話が必要か考えられるようになった自分や友達の成長にも気付かせ，互いのよさやちが

いを認め合える集団に育てていきたい。

　　「チャレンジ精神」に関して，これまでの経験や虫の飼育を通して学んだことを活かしな

がら，「もっと他の生き物を育ててみたい」「いろいろな生き物について知りたい」という気持ちを持ち，生活の中で実践していく力を育てたい。

５　単元計画（全９時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小単元名 | 学習内容 | 本時の  ねらい | | | ・児童の「学び」の姿  （例）～している。  ☆ICTの活用 | 育成できる資質・能力 | | |
| 知 | 思 | 学 |  | ② | ③ | ④ |
| （国語科）  　　む  　　し  　　を  　　さ  　　が  　　そ  　　う  　（４） | ○夏休みに見付けた虫を紹介し合う。（１） |  |  | ○ | ・虫に関心をもち，自分の体験を進んで話したり，友達の話を聞いたりしている。  ☆夏休みにクロームブックで撮影した写真を見せながら話す。 | ○ | ○ |  |
| ○「沼田東小学校むしっこランド」を，幼稚園の友達に紹介することを知り，校庭に出かけて虫を探したり，観察したりする。（１） | ○ |  |  | ・身近な虫に関わりたいという思いをもち，虫を探したり観察したりしようとしている。  ☆見つけた虫を，クロームブックで撮影する。 |  | ○ | ○ |
| ○虫を探したり捕まえたりする。（１） | ○ |  |  | ・校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。  ☆見つけた虫を，クロームブックで撮影する。 | ○ |  | ○ |
| ○捕まえた虫を友達と見せ合い，捕まえた場所や捕まえ方，虫の様子などを記録カードにかき，今後の育て方について話し合う。（１） |  | ○ |  | ・これまでの経験から世話の仕方を想像し，世話の仕方を決めている。  ☆自分が捕まえた虫がいた場所の写真を見ながら，気付いたことをカードにかく。 | ○ | ○ |  |
| む  　　し  　　と  　　な  　　か  　　よ  　　く  　　な  　　ろ  　　う  　（５） | ○虫の立場に立って，すみかを作ったり，世話の仕方を考えたりする。（１） |  | ○ |  | ・虫の特徴や変化，成長について考え，生き物の立場に立ってすみかの作り方や世話の仕方を工夫し，表現している。  ☆捕まえた時の写真を振り返りながら工夫する。 | ○ | ○ |  |
| ○自分の飼っている虫に合うように工夫したところを紹介する。（１）本時 |  | ○ |  | ・虫が元気にくらせるようにすみかのどこを工夫したのか，なぜそうしたのかを表現することができる。  ・友達の発表を聞いて，自分の飼っている虫にとってもっとよいすみかにするための新たな工夫を見付けている。  ☆捕まえた時の写真を見せながら，工夫の根拠を発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| ○虫の世話を続ける中で，気付いたことを記録カードにかき，友達と伝え合う。（１） | ○ |  |  | ・虫に合わせた世話をする中で，虫が変化していることや生命を持っていることに気付いている。 | ○ |  |  |
| ○自分の飼っている虫を幼稚園の友達に紹介する準備を行う。（１） |  | ○ |  | ・虫とのかかわりを振り返り，幼稚園の友達に1番伝えたいことを自分なりの方法で表現している。  ☆クロームブックで写真や動画を撮る。 | ○ |  | ○ |
| ○虫をこれからどうするのか話し合いもといた場所に帰す。（１） |  |  | ○ | ・これからも生き物を大切にしようとする気持ちをもっている。 | ○ | ○ |  |

１　学　年　第１学年　男子１４名　女子１１名　計２５名

２　本時の目標

　虫が元気にくらせるようにすみかのどこを工夫したのか，なぜそうしたのかを表現することができる。友達の発表を聞いて，自分の飼っている虫にとって，もっとよいすみかにするための新たな工夫を見付けることができる。

３　本時の「学び」を実行する振り返り確認問題　　と　　評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 友達の発表を聞いて，自分もやってみようと思った  工夫はどんなところですか。 | A | どんな工夫をするか，なぜその工夫をするのかを表現できている。 |
| B | どんな工夫をするかを見付けている。 |
| C | どんな工夫をするかを見付けられていない。 |

４　板書計画

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ９／16いきものとなかよし  めあて  むしがげんきにくらせるすみかにするために，どんなところをくふうしたのかな。  まとめ　　げんきにくらせるすみかにするには，むしがすんでいたところのつちやくさをいれて，そっくりになるようにするとよい。  えさだから。  のむから。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 【ばった】 | つち | くさ | みず  （かっぷにいれる） | | 【いなご】 | つち | くさ | みず  （かっぷにいれる） | | 【こおろぎ】 | つち | おちば | いし | | 【だんごむし】 | つち  （しめらせる） | おちば，かれは | いし |   　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふりかえり  いしのしたにかくれていたから。  ・つちがかわいたら，みずでしめらせあげたい。  ・まいにち，つかまえたところのくさをとってきてたべさせてあげたい。  ・もういちど，つかまえたところにみにいって，なにがあったかたしかめたい。  かくれるから。    つかまえたところがしめっていたから。  買えるか，買えないかが  **はやく　かんたんに**  わかるコツは，  １つが１００円で買えるかどうかを考えるとよい。 |

５　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習  展開 | 「学び」の過程 | ◇全体や個への手立て  ◆他教科等との関連  ☆ICTの活用 |
| ・児童の思考の深まり（具体） ○教師の問い（具体) |
| 課題設定・情報収集 | 問題場面  の設定  課題設定  解決の見通し | ○自分の飼っているのは，どんな虫ですか。  ・バッタ　・イナゴ　・コオロギ　・ダンゴムシ  ○虫が元気にくらせるように，すみかをつくったね。□□さんは，どんな工夫をしたと思う？  ・土を入れた。　・草を入れた。　・はっぱを入れた。  ・全部見たい。　・他の友達の工夫も知りたい！  ○みんながどんな工夫をしているか，紹介し合おう。  めあて　　げんきにくらせるすみかにするために，どんなところをくふうしたのかな。 | ☆虫の写真を見せたり，すみかをつくっている様子の動画を見せたりして想起させる。  ◇一人の飼育ケースを画用紙で隠しておいて，どんな物を入れて工夫しているか予想させる。そして，少しずつ途中まで見せて「もっと知りたい」という気持ちを持たせる。 |
| 整理・分析 | 自力解決  集団思考  協働学習で「学び」を確かめる | ○グループで友達の工夫を見付け合おう。  「わたしはバッタを飼っています。どこを工夫したでしょう？」  　　・土を入れているよ。つかまえたところに土があったのだと思うよ。  　　・草を入れているよ。草を食べるからだね。  ○自分の飼っている虫が元気に過ごすために，何を入れたのか，どうしてそうしたのか，発表しよう。  【バッタ】  ・草を入れました。つかまえた時，草の上にいたからです。  ・草を入れました。バッタは，草を食べるからです。草が枯れない様に，土に植えました。  ・土を入れました。バッタがいたところに土があったからです。  ・水を入れました。水を飲むと思うからです。  【イナゴ】  ・土を入れました。土の上にいたからです。  ・草を入れました。草の上から跳び出してきたからです。  ・水を入れました。水がないとのどが渇くからです。  【コオロギ】  ・土を入れました。土の所にいたからです。  ・落ち葉を入れました。落ち葉があるところにいたからです。  ・石を入れました。石の後ろにいたからです。  【ダンゴムシ】  ・土を入れました。土の上を歩いていたからです。そこの土は湿っていたので，水を少しかけてぬらしました。  ・落ち葉を入れました。落ち葉の下にいたからです。  ・枯れ葉を入れました。枯れ葉の下から出てきたからです。  ・石を入れました。石の下にかくれていたからです。  ○友達の発表を聞いて，気付いたことや思ったことを伝え合いましょう。  ・どの虫も，えさが大切だと気付きました。  ・どの虫のすみかにも，土が入っていました。  ・どの虫も，いたところにあったものを入れてあげていました。  ○バッタのすみかには，石はいらないの？落ち葉はいらないの？  ・バッタは，石の下にいなかったから入れなくてもいいと思います。  ・バッタがいたところには，落ち葉ではなく草が生えていたから，草が大切なんだと思います。 | ◇２～３人のグループを作り，お互いの工夫を見付け合う。  ◇クロームブックですみかの写真を撮っておき， 見付けた所に○をつけながら工夫を見付け合う。  ◇工夫をする前の写真も撮っておき，比べられるようにしておく。  ◇前時のすみかをつくる活動の中で児童の気付きを見取っておく。  ◇実際につくったすみかを見せながら発表させる。  ☆虫がいたところの写真を撮っておいて提示する。  ◇「どうしてそうしたの？」「何のために入れたの？」と，工夫を意味づけするために問い返していく。  ◇「バッタを飼っている人は，みんなこの草を入れたの？」「ほかの虫を飼っている人で，同じように落ち葉を入れた人はいる？」など，一人の発言からつなげたり，広げたり，関連付けたりさせる。  ◇共通して必要なことや，自分の飼っている虫に特に必要なことなどについて気付くことができるよう，児童から出た意見を板書に整理・構造化し，意味づけをする。  ☆バッタがいたところの写真を提示して考えさせる。 |
| まとめ | 「学び」のまとめ  まとめ　げんきにくらせるすみかにするには，すんでいたところのつちやくさをいれて，そっくりになるようにするとよい。 | ○どの虫も元気に過ごせるすみかにするには，どんなことが大切なのかな。  ・その虫がいたところと，そっくりになるようにすみかをつくってあげればいいと思います。  ・虫をつかまえたところにあった草や土をいれてあげると，元気に過ごせると思います。  ・えさを入れてあげることです。 | ◇虫探しをした時に，「虫が住んでいた場所」に視点を向けて考えられるように発問する。 |
| 実行・振り返り | 「学び」の実行  「学び」の振り返り | ○友達の発表を聞いて，自分もやってみようと思った工夫はどんなところですか。  ・土はいれていたけど，つかまえた所の土ではないので，もう一度その場所の土を取りに行って，入れてあげようと思います。  ・草は入れているけど，もう一度バッタをつかまえた場所に行って，どんな草を食べていたのか調べてみようと思います。  ○明日からも毎日世話をして，もっと虫と仲良くなろう。 | ◇本時の学習を通して，児童が「もっと～してあげたい」という思いを大切にし，常時活動へとつなげる。  ☆虫がいたところの写真を見返しながら振り返らせる。 |